

【英語】

1 学習の目標

- ・英語の音や言葉、表現、文法、言葉の働きを理解するとともにこれらの知識を実際のコミュニケーションで活用できる技能を身に付ける。
- ・コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて様々な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用したりしてコミュニケーションをとることができる。
- ・人や物事の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、自ら進んで、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に着ける。

2 勉強のしかた『上達のポイントは毎日繰り返し学習すること』

(1)「授業」では、活動に集中し、意欲的に取り組もう！

- ①単語や文章を、声を出して練習しよう。
- ②積極的にペアやグループでの活動に取り組もう。
- ③新たな情報や重要なことはメモを取ろう。
- ④わからないところは、その場で、または授業後すぐに先生や友達に質問しよう。

(2)「家庭学習」では、授業の準備(予習)と、習ったことの見直し(復習)をしよう！

①授業の前に(予習)

学習ノートに、

- ・新しい英単語の意味や発音を調べて記入しよう。
- ・重要文・本文をノートに写し、本文の意味や内容を調べておこう。

②授業の後に(復習)

- ・課題、宿題はその日のうちに取り組もう。
- ・練習用のノートなどに、その日に学習した単語・重要文を繰り返し書いて練習しよう。その際、声に出してしっかり読もう。

③さらに英語力を高めるために(発展学習)

- ・テレビ、ラジオの英語講座やインターネットを活用しよう。
- ・映画や音楽を通して言葉のリズムや音声に慣れよう。
- ・各種英語検定(英検・TOEIC・TOEFL など)に挑戦しよう。

(注)なお、検定については各自で申込みおよび受験していただきます。校内では案内およびアドバイスは行いますので、各学年の英語科担当にご相談ください。

3 評価について

聞く・読む・話す(やりとり)・話す(発表)・書く、の5つの項目について3つの観点で評価されます。

- 知識・技能：英語の音声や文のきまり
- 思考・判断・表現：話の内容を正しく理解する、考えや気持ちを正しく表現する。
- 主体的に学習に取り組む態度：様々な場面での英語学習に対する態度

評価項目	評価の対象となるもの
知識・技能	定期考査・小テストなど
思考・判断・表現	定期考査・小テスト・インタビュー・プレゼンテーション・各種課題など
主体的に学習に取り組む態度	授業に取り組む姿勢・課題の取り組み状況・定期考査・小テストなど

4 先生からのアドバイス

英語の勉強は楽しんでください。身につけば間違いなく楽しいものです。頑張りましょう。